



富士興産株式会社
個人投資家向け会社説明会

代表取締役社長 川崎 靖弘

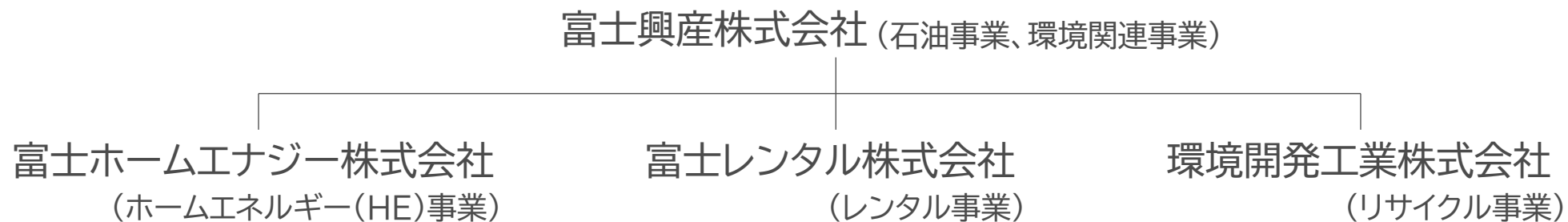
CONTENTS

- 01 富士興産グループについて
- 02 現中期経営計画および今期業績
- 03 今後の成長戦略
- 04 株主還元方針

CONTENTS

- | | | | |
|----|----------------|-----|-------------|
| 01 | 富士興産グループについて | 1-1 | グループ概要 |
| 02 | 現中期経営計画および今期業績 | 1-2 | 各事業 事業内容 |
| 03 | 今後の成長戦略 | 1-3 | 富士興産グループの強み |
| 04 | 株主還元方針 | | |

グループ構成



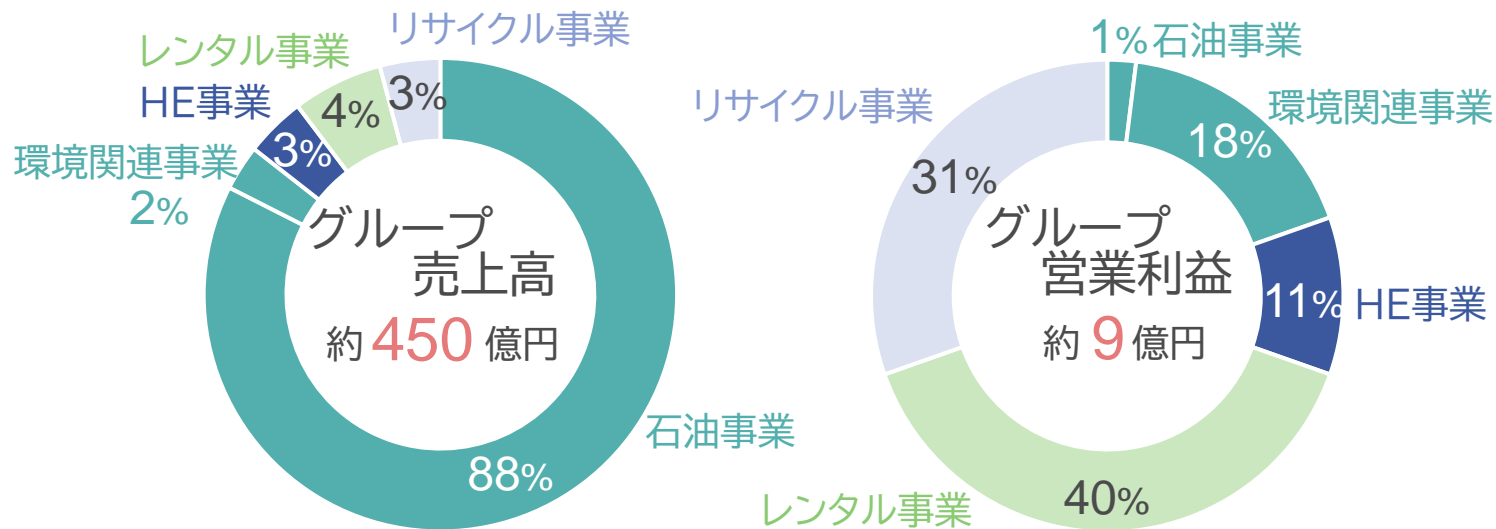
資本金

約 **55** 億円

グループ従業員数 (2023年12月31日現在)

約 **300** 人

売上高・営業利益割合 (2024年3月期第3四半期累計実績)



石油燃料、潤滑油、アスファルトおよび環境負荷低減に資するエネルギーを販売

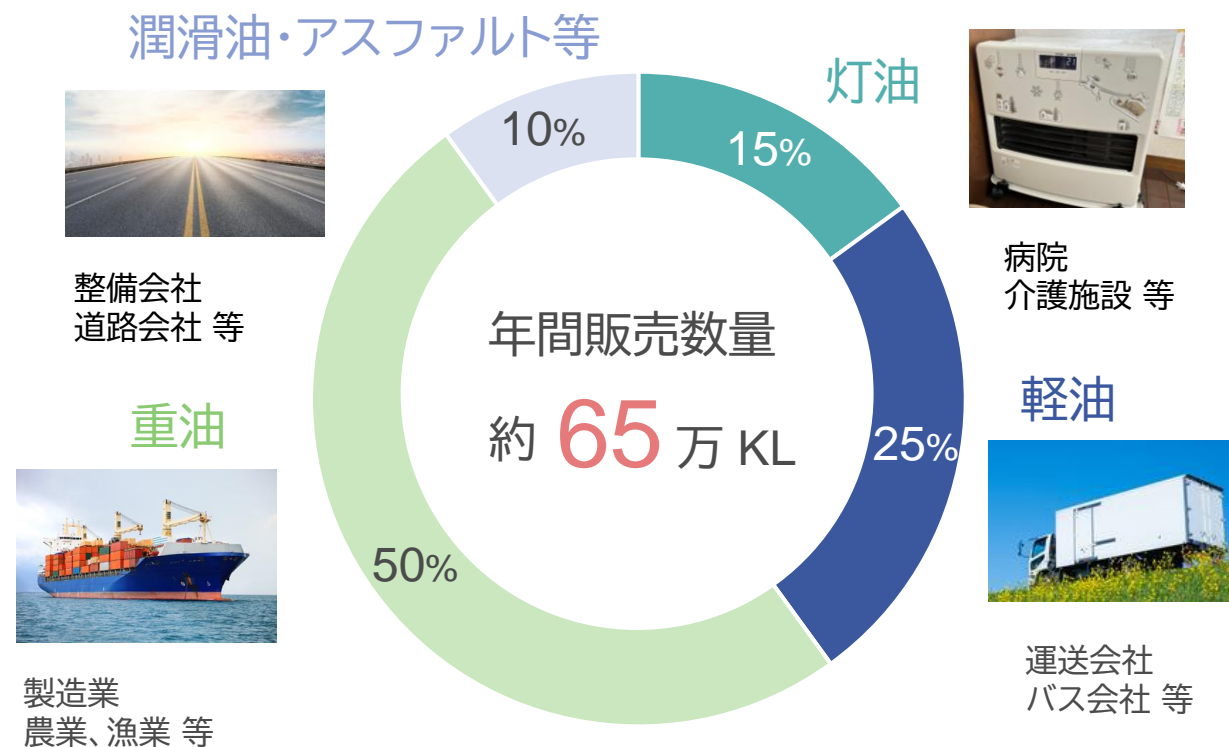
拠点



強み

- ENEOSの全国物流基地の利用が可能
- 全国をカバーする営業エリア
- 自社配送網による全国安定供給体制

販売油種構成

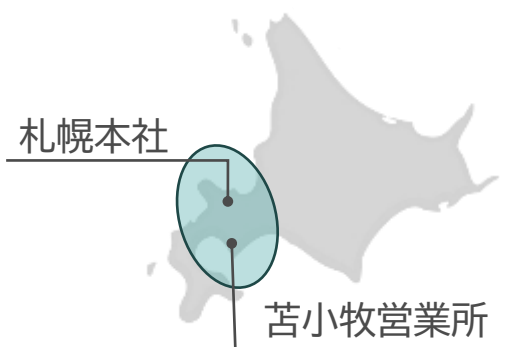


多岐にわたる顧客に安定供給

北海道道央地区を基盤にLPG・灯油などの家庭用燃料の小売を実施

拠点

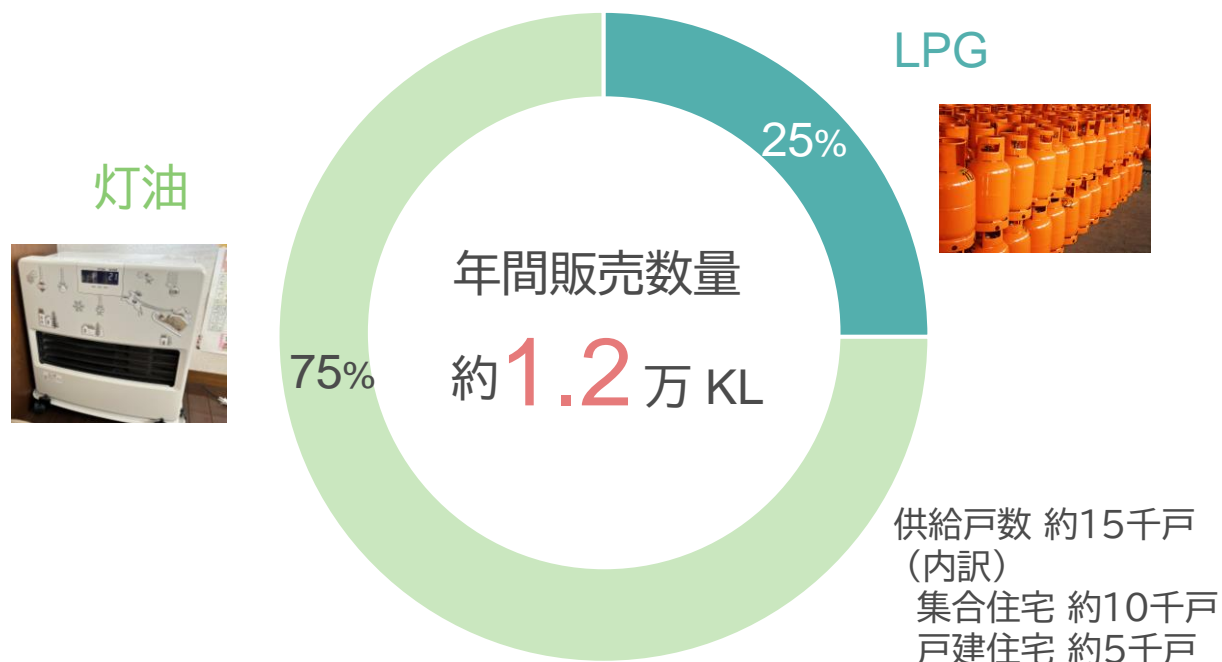
北海道道央地区に2カ所



強み

- 自社の灯油ローリーを活用した配送網
- 24時間365日対応可能な保安体制
- 「安全・安心・安定」の供給体制

販売数量

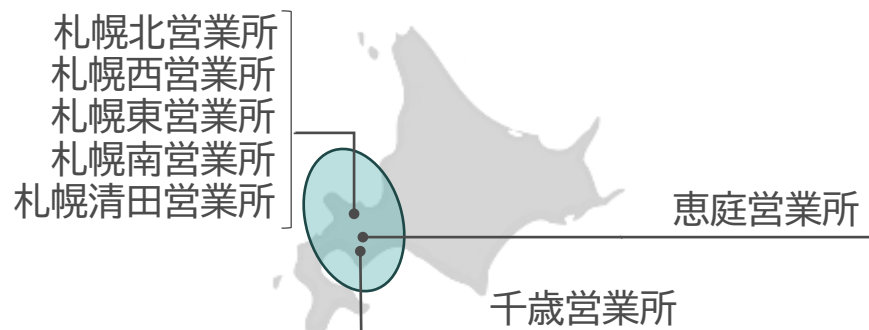


特に集合住宅向け供給に強み

北海道道央地区を基盤に建設用の機械や重機のレンタルを実施

拠点

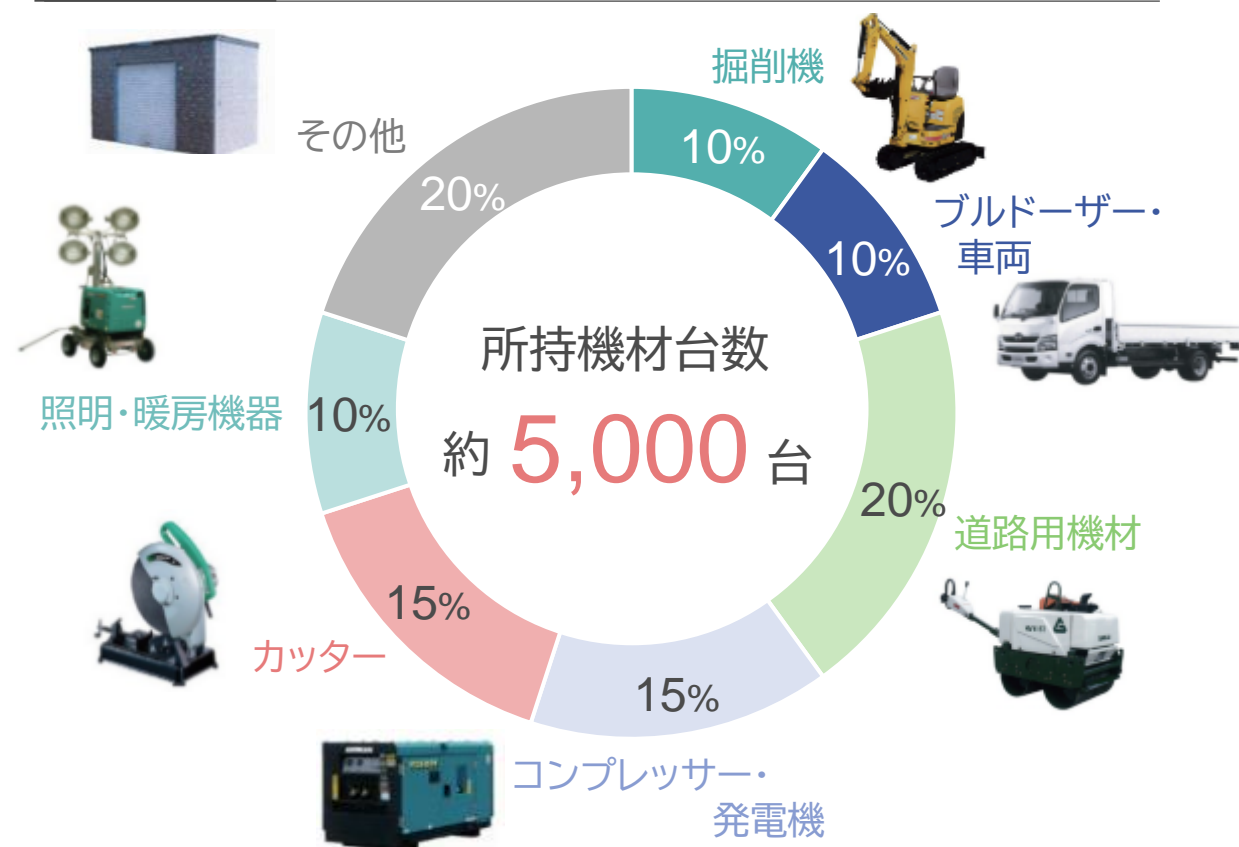
北海道道央地区に7カ所



強み

- 幅広い機材をバランスよくラインナップ
- 早朝や緊急の現場に対応できる営業時間
- 店舗間での機材の融通、他店舗での返却が可能

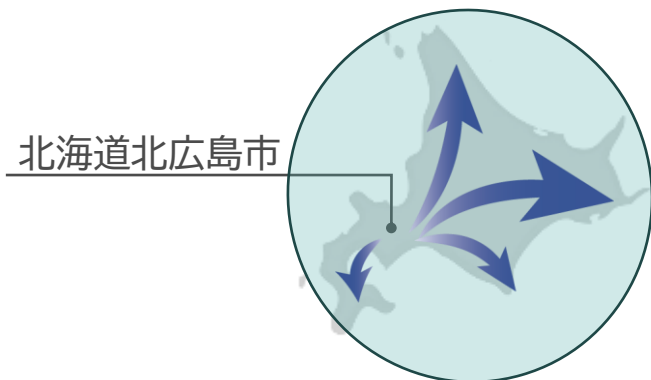
機材構成



再生重油の製造販売、OA機器等のリサイクル、土壌汚染対策除去作業を行う

拠点

北海道北広島市から全道をカバー



強み

- 多品目の廃棄物を少量から回収可能
- 自社で回収からリサイクルまでワンストップ対応
- 優良認定事業者として、顧客からの高い信頼

売上高構成

(24年3月期 第3四半期累計)

環境リサイクル



(土壌汚染対策
除去作業)

資源リサイクル

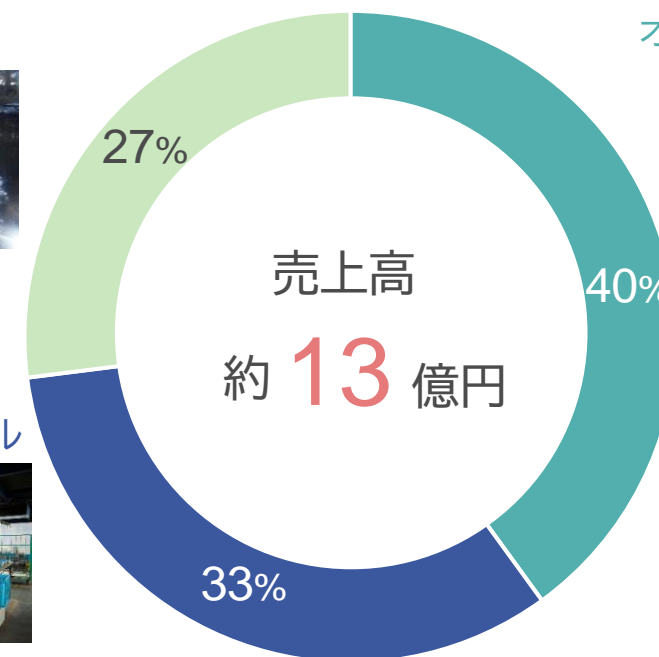


(OA機器等の
リサイクル)

オイルリサイクル

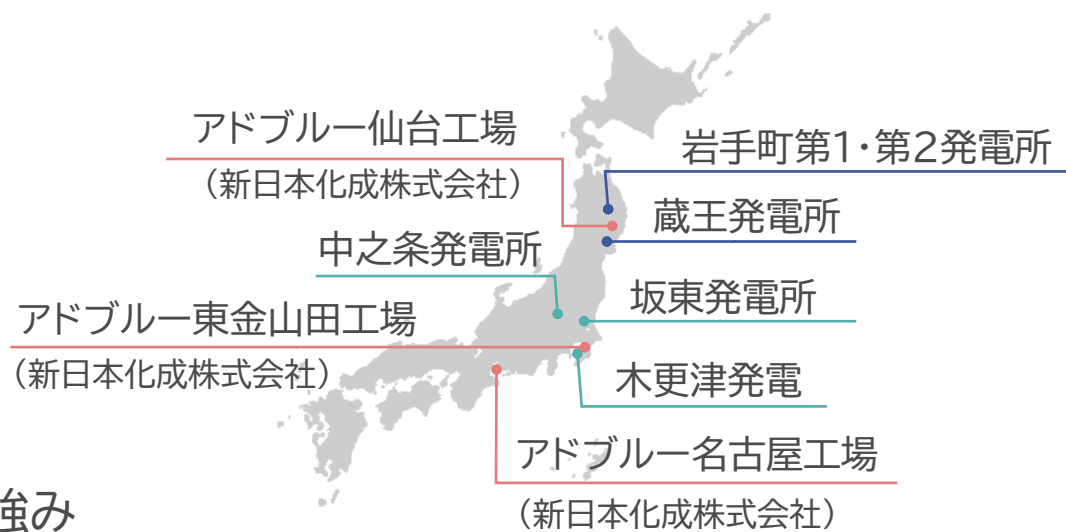


(再生重油の
製造・販売)



太陽光事業とアドブルー※事業で環境負荷低減に貢献

拠点

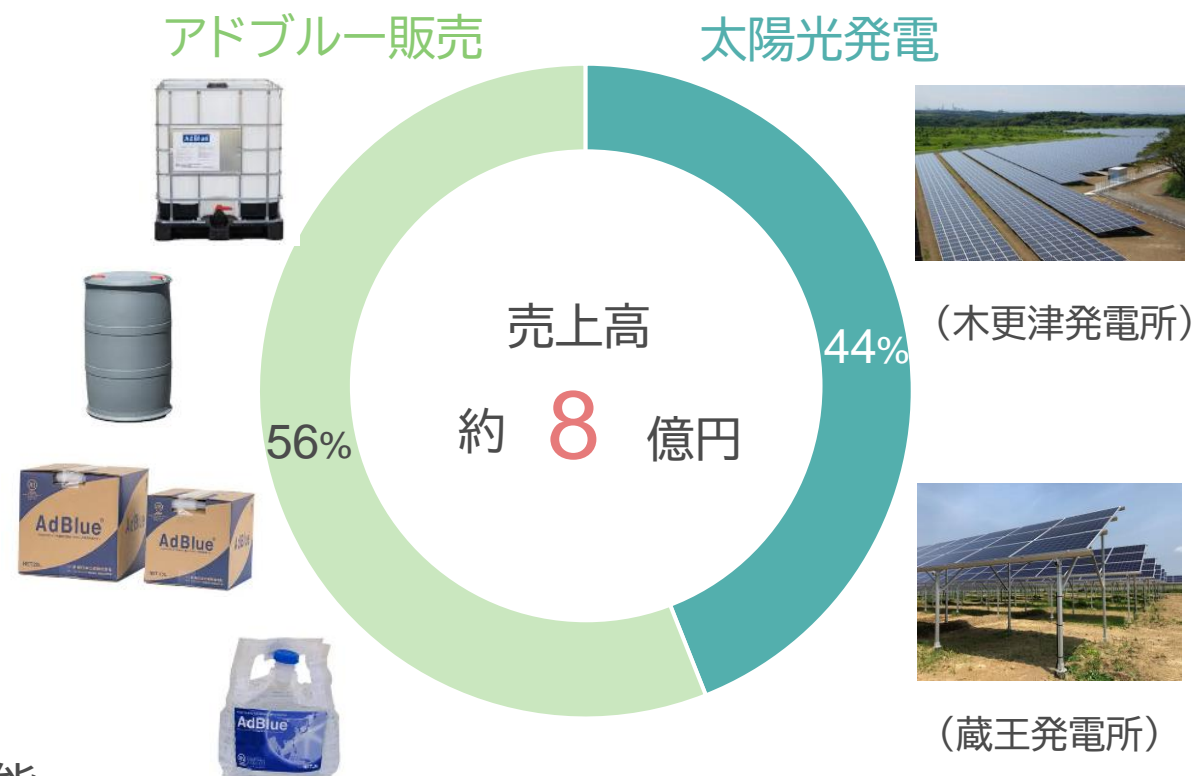


強み

- 6発電所、約10MWを運営
- 営農型発電所を3カ所運営(岩手町第1・第2、蔵王発電所)
- アドブルーの巡回給水や様々な荷姿で全国へ配送可能

売上高構成

(24年3月期 第3四半期累計)



CONTENTS

- | | | | |
|----|----------------|-----|--------------------------------|
| 01 | 富士興産グループについて | 2-1 | 現中期経営計画の振り返り |
| 02 | 現中期経営計画および今期業績 | 2-2 | 24年3月期 第3四半期累計実績
および通期業績見込み |
| 03 | 今後の成長戦略 | 2-3 | 各事業の24年3月期 第3四半期
累計実績 |
| 04 | 株主還元 | 2-4 | グループ業績推移 |

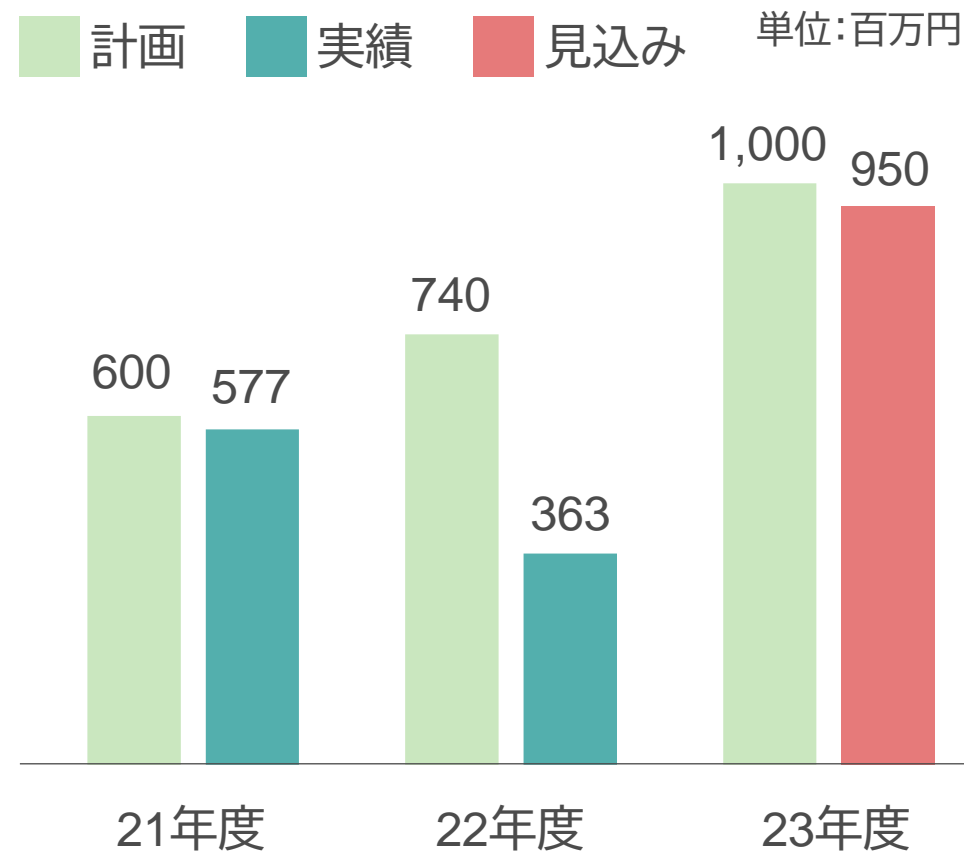
現中期経営計画での主な取り組み

- 環境開発工業のM&A実施
… リサイクル事業への進出
- バイオディーゼル燃料の取扱い開始
… 鴻池組、サントリーロジスティクスとの
B30燃料の実証実験開始
- 総還元性向100%を目安とした
株主還元継続



22年度を除き、ほぼ計画並の収益を確保

参考:現中期経営計画 経常利益実績・見込み



24年3月期第3四半期累計実績および通期業績見込み

暖冬や節約志向の影響により、中計目標は若干下回るも前年からは大幅に改善

	単位:百万円			(ご参考)	
	2024年3月期 見込	2024年3月期 3Q累計実績	進捗率	2023年3月期 実績	前年対比
売上高	65,900	44,447	67.4%	65,073	101.3%
営業利益	930	921	99.0%	338	275.1%
経常利益	950	942	99.2%	363	261.7%
純利益	630	652	103.5%	393	160.3%

厳しい事業環境が継続し、計画は未達も前年からは大幅に改善

営業利益

6 百万円

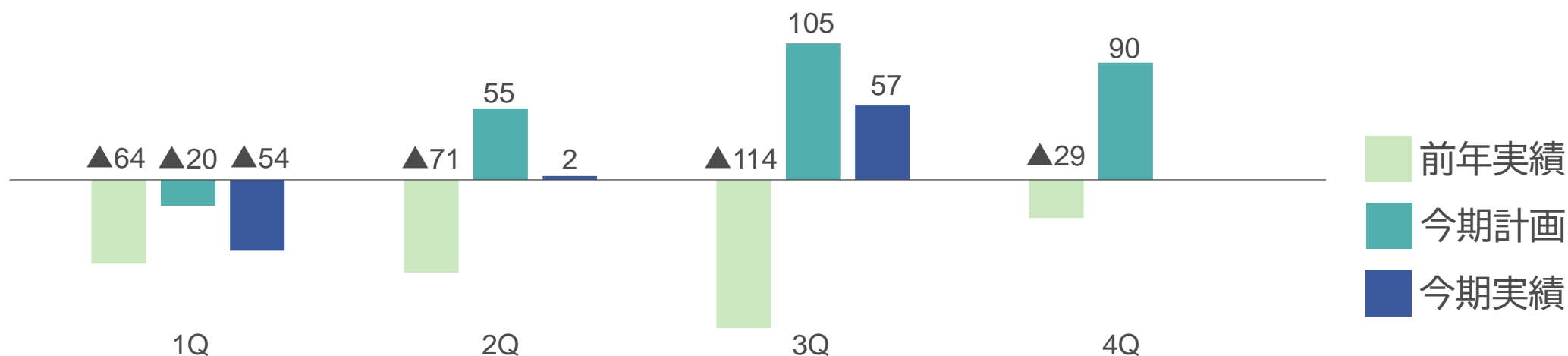
(前年同期比 +256百万円)

(計画比 ▲134百万円)

- 暖冬やエネルギーコスト高騰による節約意識の高まりの影響で、石油製品需要は前年を下回る低調な動き
- 石油事業の周辺製品やサービス等のラインナップを拡充し、付加価値を訴求した提案型営業を強化

四半期別営業利益推移

単位:百万円



新規提案型営業の強化による顧客増により、前年・計画とも上回る実績

営業利益

104 百万円

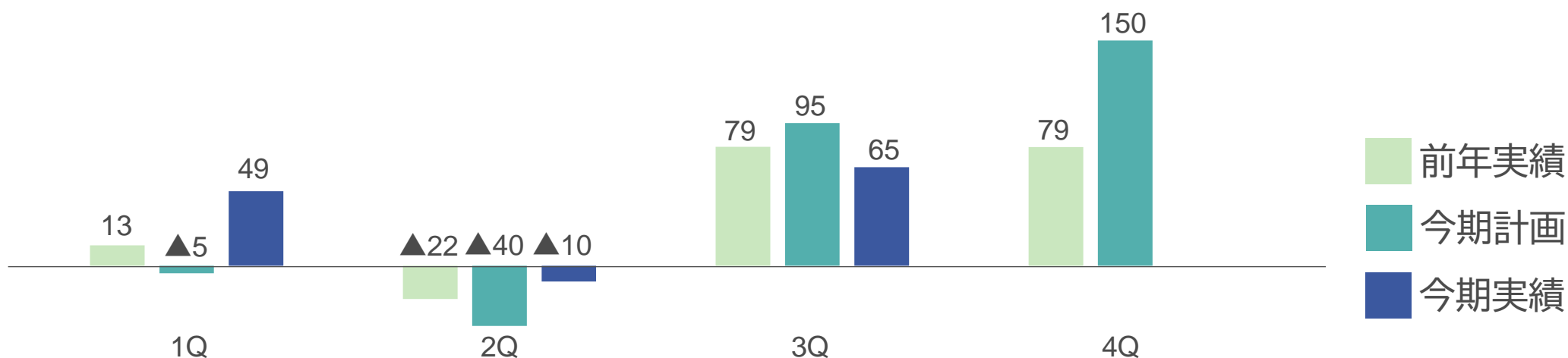
(前年同期比 + 33百万円)

(計画比 + 54百万円)

- 暖冬や物価高による節約意識の高まりの影響で1世帯当たりの燃料消費量は減少
- 一戸建て住宅を中心とした新規提案型営業に注力するとともに、安定供給体制の拡充、サービス水準を向上

四半期別営業利益推移

単位:百万円



好調な工事需要を着実に取り込み、前年・計画とも上回る実績

営業利益

366 百万円

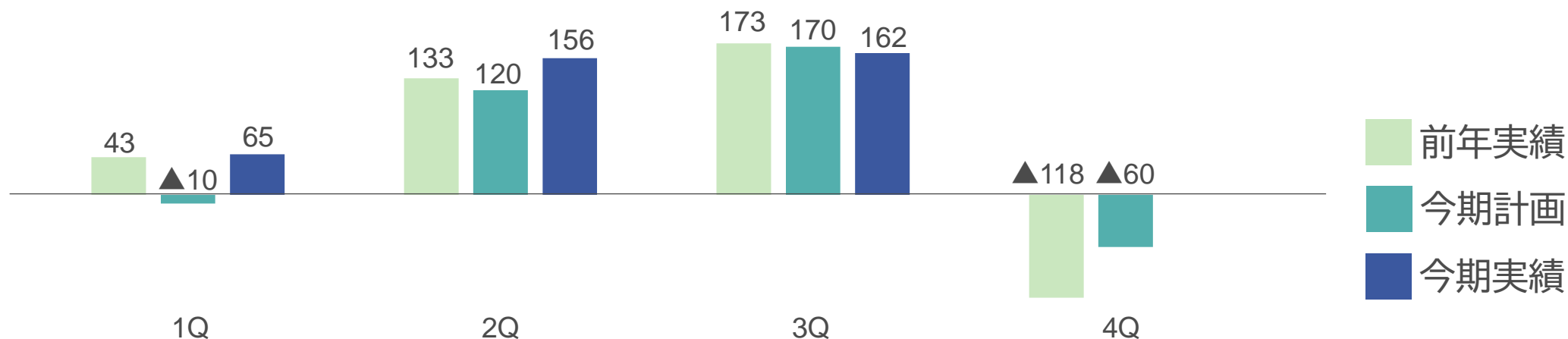
(前年同期比 + 15百万円)

(計画比 + 86百万円)

- 北海道における公共工事は堅調に推移し、建設機材の需要も旺盛な状況
- 顧客ニーズに即したレンタル建設機材のラインナップ拡充により、売上高・利益を最大化

四半期別営業利益推移

単位:百万円



顧客や地域社会のニーズに応える事業活動を推進し、前年・計画とも上回る実績

営業利益

281 百万円

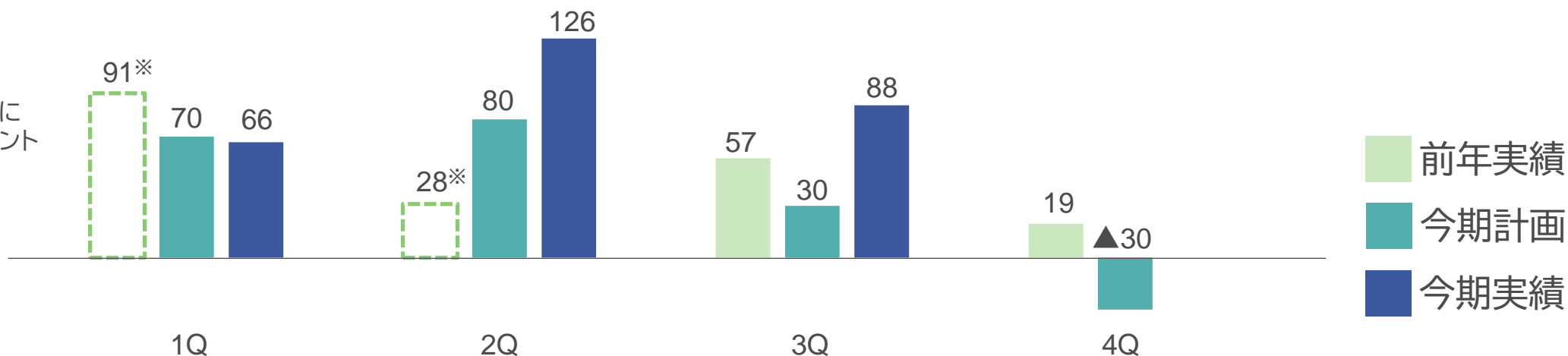
(計画比 +101百万円)

- 持続可能な社会の構築に向けた動きの中で、資源リサイクルに対する社会の要請は一段と高まる
- 全道における同業者や当社グループ各社との連携を深め、より多くのお客様や地域社会のニーズに貢献する事業活動を推進

四半期別営業利益推移

単位:百万円

※参考値
2022年10月にM&Aにより新設したセグメントのため



太陽光の好調な発電とアドブルーの販路拡大により、前年・計画とも上回る実績

営業利益

163 百万円

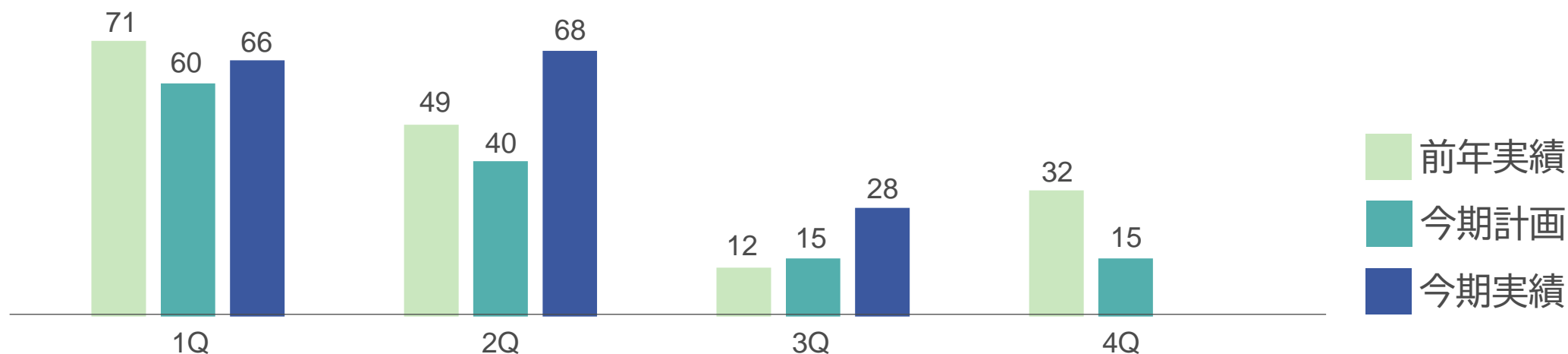
(前年同期比 + 30百万円)

(計画比 + 48百万円)

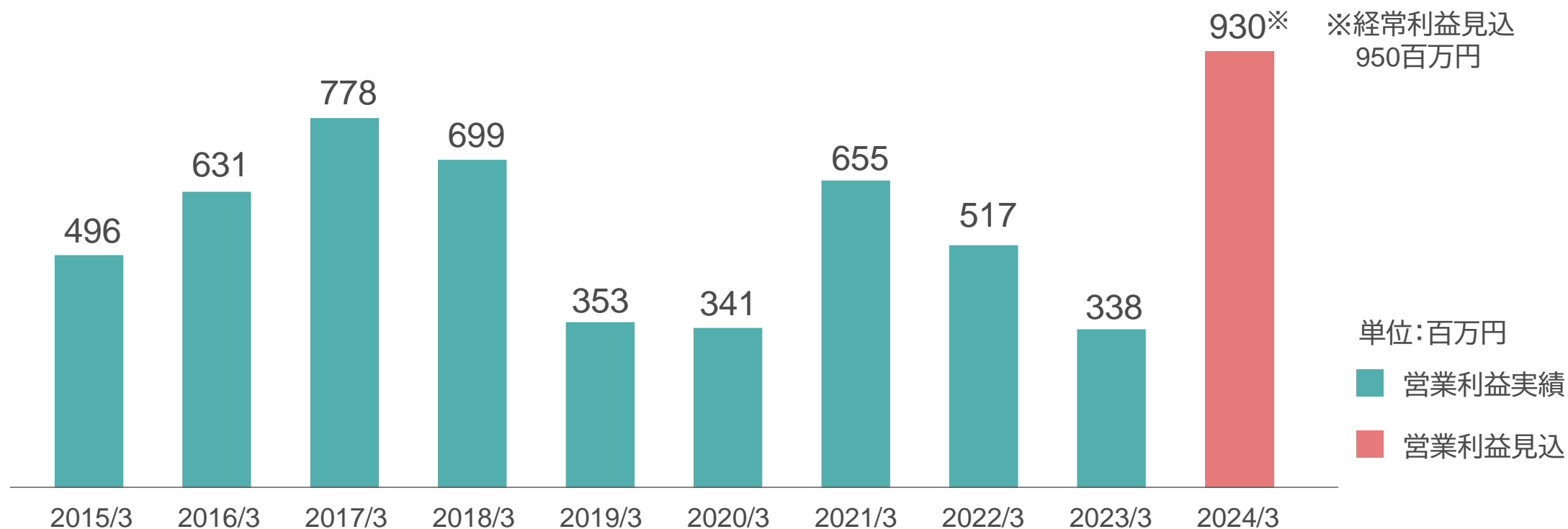
- メガソーラー発電事業は好天に恵まれ、売電量は順調に推移
- アドブルー販売は、販売チャネル拡大の為、ホームセンター等の小売店向け販売を強化

四半期別営業利益推移

単位:百万円



過去10年で最高益を達成の見込み



CONTENTS

01 富士興産グループについて

3-1 長期ビジョン

02 現中期経営計画および今期業績

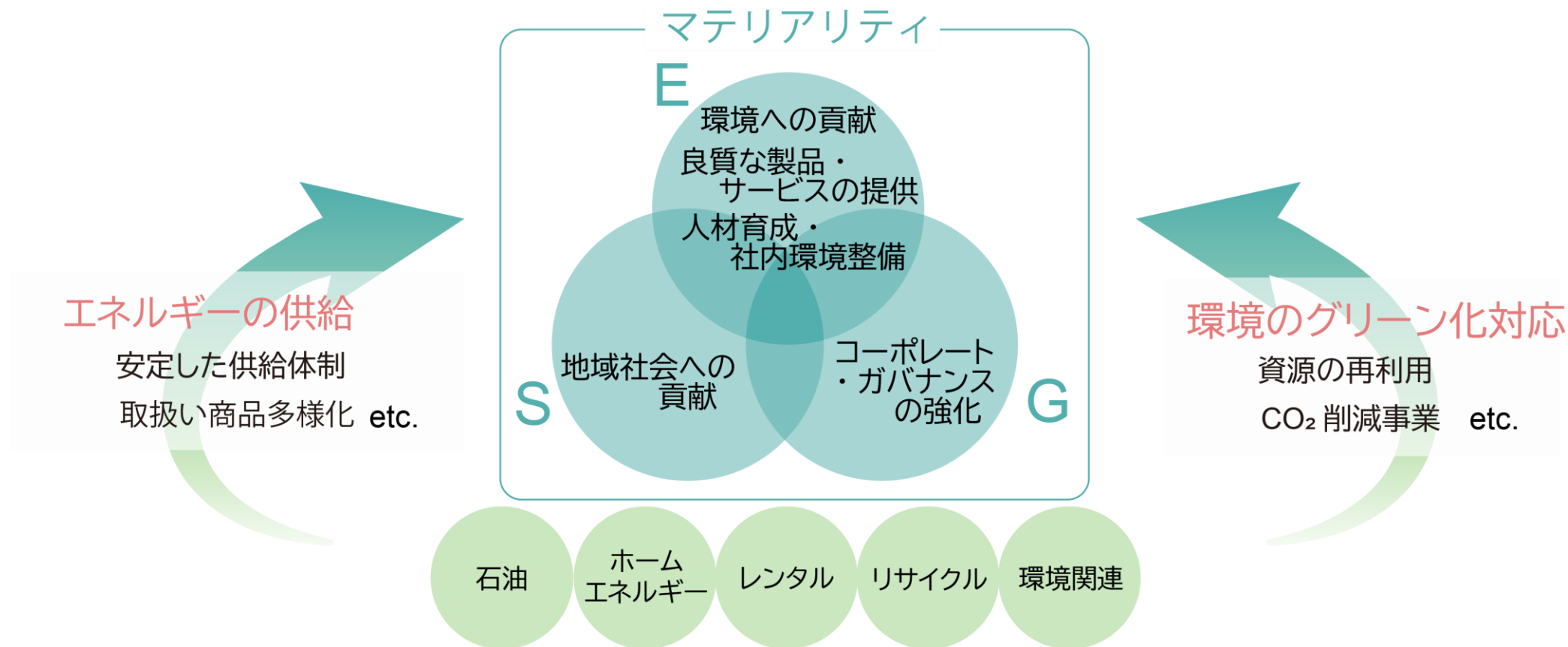
3-2 環境負荷低減に資するエネルギー

03 今後の成長戦略

3-3 次期中期経営計画について

04 株主還元

環境のグリーン化対応とエネルギーの供給を通して 社会に貢献するエネルギー商社であり続ける

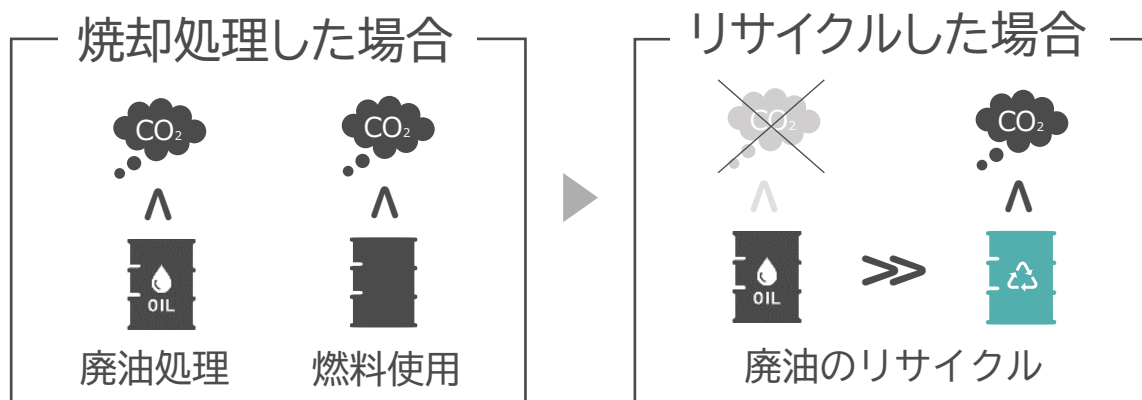


再生重油

- 使用済み潤滑油等を原料としたリサイクル燃料



- 廃棄物の有効活用により二酸化炭素削減に貢献



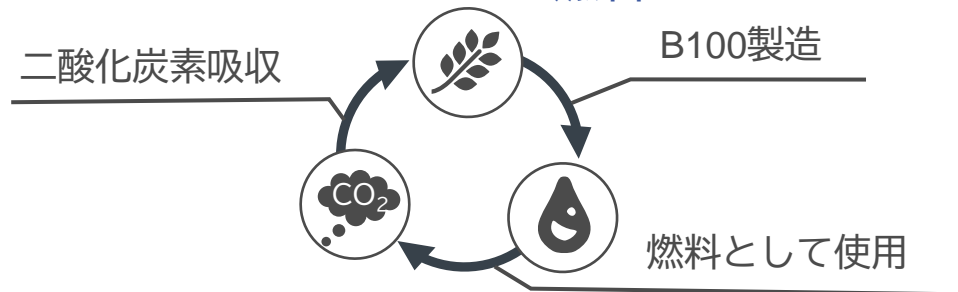
※現在、再生重油使用により排出される二酸化炭素は国の施策により、温室効果ガス等の排出報告の対象外

バイオディーゼル燃料

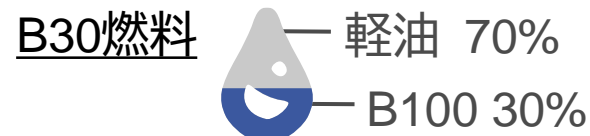
- 廃食用油由来のバイオ燃料（B100）



- カーボンニュートラルな燃料



- ニーズに合わせて軽油と混和



- 環境のグリーン化事業の強化

リサイクル事業の拡大

事業エリアの拡大、積極投資や技術力向上



- 海外事業(輸出入事業)への進出
- M&Aによる収益拡大

▶ 次期中期経営計画詳細は2024年5月発表

バイオディーゼル燃料の製造・販売強化

製造拠点の新設、既存設備の能力増強

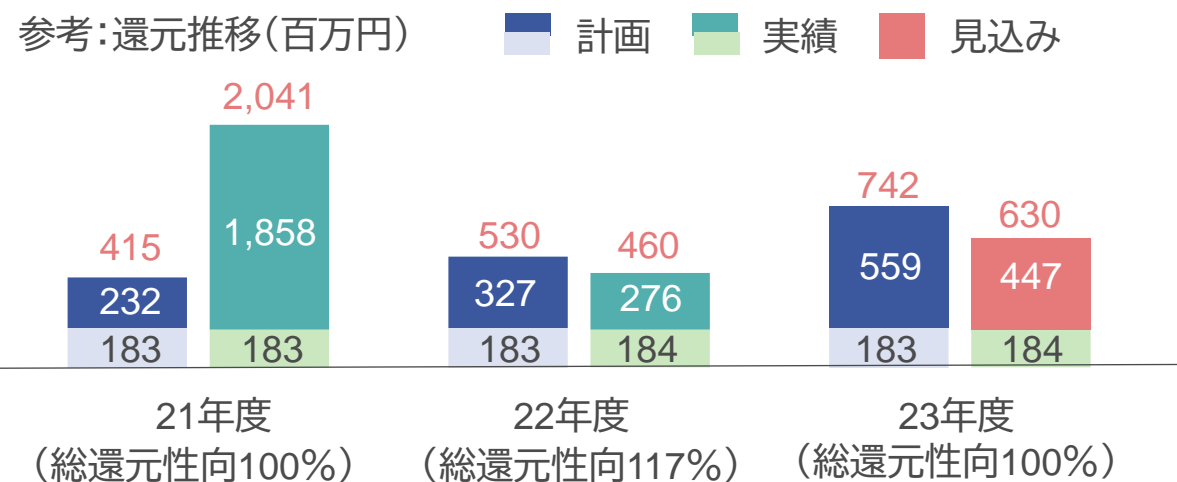


CONTENTS

- 01 富士興産グループについて
- 02 現中期経営計画および今期業績
- 03 今後の成長戦略
- 04 株主還元
 - 4-1 株主還元方針

成長投資とのバランスを考慮した積極的な株主還元を実施

- 現中計期間中(～2024年3月期)は手持ち資金を考慮し総還元性向 **100%** を予定



- 次期中計期間中(2025年3月期～2027年3月期)はキャッシュアロケーション・成長投資を考慮し決定
 - ▶ 詳細は2024年5月に発表

ご清聴ありがとうございました。